

科目名	情報処理応用			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	情報処理技術者試験の「ITパスポート試験」および「基本情報技術試験」の合格を目指し、過去問題の演習を行う								
到達目標	情報処理技術者試験の「ITパスポート試験」および「基本情報技術試験」の合格を目指す								
授業の方法	過去問題集による演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、情報処理技術者試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：70％・出席：30％）して評価する。								
授業計画	1. 令和元年度 過去問題（秋期） 2. 平成31年度 過去問題（春期） 3. 平成30年度 過去問題（秋期） 4. 平成30年度 過去問題（春期） 5. 平成29年度 過去問題（秋期） 6. 平成29年度 過去問題（春期） 7. 平成28年度 過去問題（秋期） 8. 平成28年度 過去問題（春期） 9. 平成27年度 過去問題（秋期） 10. 平成27年度 過去問題（春期） 11. 平成26年度 過去問題（秋期） 12. 平成26年度 過去問題（春期） 13. 平成25年度 過去問題（秋期） 14. 平成25年度 過去問題（春期） 15. 模擬問題								
使用教材等	基本情報技術者 午前問題集 株式会社インフォテック・サーブ 基本情報技術者 午後問題集 株式会社インフォテック・サーブ								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム応用			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	高級プログラミング言語のJavaを使って、オブジェクト指向のコンピュータプログラミングの基礎を学ぶ。								
到達目標	Javaを使って、基本的なプログラミングできるようになることおよびオブジェクト指向プログラミングの理解を目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Javaの統合開発環境（Eclipse）を使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. Javaプロ蔵の基本 2. 演算子 3. 配列 4. 制御構造(選択) 5. 制御構造(反復) 6. メソッド 7. オブジェクト指向とクラス定義 8. オブジェクトの生成とインスタンスの利用 9. コンストラクタ 10. アクセスレベルとパッケージ 11. 参照型の一次配列とArrayListクラス 12. クラスの拡張 13. オーバライド 14. インタフェース 15. ポリモフィズム								
使用教材等	Javaプログラミング 株式会社インフォテック・サーバ								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム発展			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	動的Webプログラミング言語のPHPを使って、Webアプリケーション作成の基礎を学ぶ。								
到達目標	PHPを使って、データベースを使った基本的なWebプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Webサーバ上でのプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	筆記試験、Webアプリ作成および出席状況を総合的に判断（筆記試験：50%・作品：30%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. PHP言語の基本 2. PHPを使う準備 3. Webアプリの仕組み 4. はじめてのPHPプログラム 5. データの取扱い 6. 配列 7. 画面からのデータ入力 8. 計算について 9. 条件で処理を変える 10. 繰り返し処理 11. 便利な関数 12. データベースの操作 13. ～15. Webアプリの作成								
使用教材等	ゼロからわかる PHP超入門 技術評論社 演習問題用プリント								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	データベース			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース IT/デジタルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	マイクロソフト社のAccessを使って、データベースの作成・操作の基礎を学ぶ。								
到達目標	Accessを使ってデータベース作成・操作の基礎知識を得ると共にMOS Access 2016取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. 学習の進め方 2. データベースの作成 3. データベースの管理 4. テーブルの作成 5. テーブル内レコードの管理 6. クエリの作成 7. クエリ内で集計やグループ化を行う 8. フォームを作成 9. フォームの書式設定 10. レポートの作成 11. レポートの書式設定 12. ～15. 模擬試験問題								
使用教材等	MOS Access2016 対策テキスト & 問題集				FOM出版				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プレゼンテーション			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース IT/デジタルコース	履修時間	30		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	マイクロソフト社のPowerPointを使って、プレゼンテーションコンテンツ作成の基礎を学ぶ。								
到達目標	PowerPointを使ってプレゼンテーション資料作成の基礎知識を得ると共にMOS PowerPoint 2016取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. 学習の進め方 2. プレゼンテーションの作成 3. プレゼンテーションの管理 4. テキスト、図形、画像の挿入 5. テキスト、図形、画像の書式設定 6. 表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入 7. 表、グラフ、SmartArt、メディアの書式設定 8. 画面切り替えやアニメーションの適用 9. 複数のプレゼンテーションの管理 10. 模擬試験プログラムの使い方 11. ～15. MOS模擬試験								
使用教材等	MOS PowerPoint2016 対策テキスト&問題集				FOM出版				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	情報処理基礎			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	120		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	情報処理技術者試験の「基本情報技術者試験」のシラバスに基づき、情報処理の基礎を学ぶ。								
到達目標	基本情報技術者試験の午前免除制度に合格することを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、各章が終わった時の小テストおよび過去問題集による演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、午前免除試験、各小テストおよび出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. ハードウェア 2. 情報システム 3. ソフトウェア 4. データベース 5. ネットワーク 6. セキュリティ 7. データ構造とアルゴリズム 8. 企業と法務 9. 経営戦略 10. 情報システム戦略 11. 開発技術 12. プロジェクトマネジメント 13. サービスマネジメント 14. システム監査と内部統制 15. 過去問題演習								
使用教材等	ITワールド 株式会社インフォテック・サーブ IT戦略とマネジメント 株式会社インフォテック・サーブ								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム基礎			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	与えられた課題を学生自分で考えてC言語のプログラムを作成していく。								
到達目標	C言語を使ったプログラミング技術（デバッグ、統合開発環境の理解）を身につけ、自力でプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	与えられた課題を、まず各自で考えプログラミングし、講義で不明点や注意項目等の開設をして学生の解決能力の強化を図る。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. 合計・最大・最小の計算 2. 合計・最大・最小の計算（配列を使って） 3. 合計・最大・最小の計算（関数を使って） 4. データの並べ替え 5. データの並べ替え（ポインタで） 6. 線形探索 7. 2分探索 8. 度数分布（ファイル入力） 9. 再起呼び出し 10. Sinカーブ 11. リスト処理（表示） 12. リスト処理（探索） 13. リスト処理（削除） 14. リスト処理（追加） 15. YesNo問題								
使用教材等	プリント								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム入門			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	高級プログラミング言語のC言語を使って、コンピュータプログラミングの基礎を学ぶ。								
到達目標	C言語を使って、基本的なプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Microsoft Visual Studioを使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. C言語の基本 2. データの入力と出力 3. プログラミングの基本構造 4. 関数 5. 配列 6. ポインタ 7. データ型変換と記憶クラス 8. プリプロセッサ 9. 構造体と共用体 10. 標準関数 11. ファイル入出力 12. マクロと記憶クラス 13. 計算アルゴリズム 14. 整列アルゴリズム 15. データ探索アルゴリズム								
使用教材等	Cプログラミング 株式会社インフォテック・サーブ プリント								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	Webデザイン			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	無
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	60		
実務経験									
学修内容	ウェブサイトを作成するための基本的なHTMLとCSSのプログラミングを学ぶ。								
到達目標	HTMLやCSSを使って、基本的なウェブサイトの構築ができるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、ブラウザを使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験や実習課題、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：50％・課題：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェブページについて 2. HTMLの基本 3. ウェブページを作る 4. サブページを作る 5. CSSの基本 6. CSSでレイアウト 7. テキストのデザイン 8. 挿入、景、枠線を付ける 9. モバイル・SNS対応して公開 10. JavaScriptの基本 11. ～15. 課題作品制作 								
使用教材等	デザインの学校 これからはじめる HTML & CSS の本 技術評論社								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	情報処理概論(情報セキュリティマネジメント)			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	情報セキュリティマネジメントシステムに規定された用語、安全管理策及び内部監査の目的、及びマネジメントレビューについて学ぶ								
到達目標	情報セキュリティに関するインシデントなどの新聞報道などの記事からリスクと是正策を考えられるようになる。								
授業の方法	情報セキュリティマネジメントシステムと関連法規を基本に講義を行、情報セキュリティマネジメント試験のための対策として過去問演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、各小テストおよび出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. 情報セキュリティとは 2. マルウェア 3. 情フィッシング 4. 標的型攻撃 5. Webサイトへの攻撃 6. Webサイト利用者への攻撃 7. 共通暗号方式 8. 公開鍵暗号方式 9. 利用者認証 10. メッセージ認証 11. デジタル署名 12. ファイヤウォール 13. 無線LANセキュリティ 14. 携帯端末セキュリティ 15. セキュリティ関連法規								
使用教材等	なるほど情報セキュリティ 株式会社インフォテック・サーブ 情報セキュマネ試験 要点&問題集 株気会社インフォテック・サーブ								
履修上の留意点・他									